

# 内部水源地非常用発電設備更新工事

## 特記仕様書

平成 30・31 年度

## 第1章 総 則

### 第1条 適用

本工事は、四日市市上下水道局内部水源地の発電設備を更新するものである。

受注者は本市工事執行規則及び本仕様書を遵守し、三重県（平成 24 年 7 月）「三重県公共工事共通仕様書」を準用し、施工するものとする。

### 第2条 本工事の工期について

本工事は、平成 30 年度、平成 31 年度の債務負担行為である。

完成期限 平成 31 年 11 月 20 日 限り

既済部分（出来高） 平成 31 年 3 月末日

なお、既済部分（出来高）対象は下記事項とし、詳細は甲乙協議のうえ決定する。

1 機器製作一式

### 第3条 設計図書優先順位

すべての設計図書は、相互に補完するものとする。ただし、設計図書間に相違がある場合の優先順位は、次のとおりとする。

- (1) 現場説明事項及び協議指示書
- (2) 本特記仕様書
- (3) 設計図書等
- (4) 三重県公共工事共通仕様書

### 第4条 疑義の解釈

本仕様書の解釈及び施工上の詳細について疑義を生じた場合は、すべて本局の解釈のとおりとする。

### 第5条 特記事項

1. 受注者は、工事が完成し、引渡し完了までの工事対象物の保管責任を負わなければならない。
2. 隣接工事または関連工事がある場合は、当該工事の受注業者と相互に協力し、施工すること。
3. 完成検査時等に機器の運転が出来ない等支障がある場合は、受注者は本局の指示に従うものとする。
4. 施工に当たっては、常に工事の安全に留意し、現場管理を行い、災害の防止を図ること。
5. 工事の完成に際して、工事にかかる部分を片付けかつ清掃し、整然とした状態にするものとする。
6. 施工上必要な施設物防護、臨時取りこわし物の復旧及び仮施設等は受注者の負担で行うものとする。
7. 当該工事に関する諸法令を遵守し、工事の円滑な進捗を図るとともに、諸法令の適用運用は受注者の責任と費用負担において行うこと。
8. 受注者は、受注者の判断に於いて必要に応じて損害保険等に付さなければならない。
9. 受注者は、工事施工によって生じた現場発生品について現場発生品調書を作成しなければならない。引き渡しを要しないものは搬出し、関係法令に従い適切に処理し、引き渡し

を要するものは、指示する場所で引き渡さなければならない。産業廃棄物が搬出される工事にあたっては、書面により適切に処理されていることを確認するとともにその写しを提出しなければならない。

- 1 0. 受注者は、現場実測を行ったうえで承諾申請図書を作成、提出し、本局の承諾を得るものとする。
- 1 1. 機器の詳細及び配管・配線等の位置、経路、サイズ、本数は承諾図書により決定するものとする。
- 1 2. 本特記仕様書、図面等の間に相違がある場合または図面からの読み取りと図面等に書かれた数値が相違する場合、受注者は本局に確認し、指示を受けなければならない。
- 1 3. 受注者は、稼動の際、機能に支障が出ないように必要に応じ措置を施すこと。
- 1 4. その他、指示、了承事項等を遵守すること。

## 第6条 仕様書の詳細

1. 本仕様書は工事仕様の大要を記載するもので、その詳細については設備一式が完成品として備えるべき必要事項を十分満足すること。
2. 受注者は本仕様図書に従って施工するものであるが、これらに明示なき事項であっても施行上又は技術上、或いは安全上当然必要と認められる軽微なものは、受注者の責任において受注金額に増減なく施工するものとする。

## 第7条 関係官公庁への諸手続

工事施工にあたり、関係官公庁及びその他の関係機関への届出等を要する場合は、受注者の責任と費用負担において法令・条例等の定めにより、本局へ報告のうえ遅滞なく実施しなければならない。

## 第8条 下請工事施工

工事の一部を下請業者で施工する場合は、できる限り本市の市内業者で施工すること。

## 第9条 提出書類

### 1. 承諾図書など

本工事施工に必要な設計図書、納入機器一式を契約後に提出し、本局の承諾を受けること。なお、納入仕様書の承諾後、同章第6条「仕様書の詳細」に基づき仕様の変更が生じた場合は、直ちに変更納入仕様書を提出して本局の承諾を受けること。

受注者は工事目的物を完成させるために必要な工程管理・仮設計画・施工管理・品質管理を具体的に定めた施工計画書を本局に提出しなければならない。また、施工計画書を遵守し、工事の施工にあたらなければならない。施工計画書の内容に変更が生じ、その内容が重要な場合は、その都度当該工事に着手する前に変更に関する事項について、変更計画書を提出しなければならない。

### 2. 工事写真

製作工場等における機器製作完了及び主要検査状況の写真（可能な場合は機器製作工程も含む）、工事着手前・工事中・完成の記録及び確認の写真等とする。地中埋設等により完成時に状況を明らかに出来ない箇所は、特に入念に撮影すること。

原則として、撮影用具にデジタルカメラを用いる。カラープリンタによりサービスサイズ程度の大きさにA4用紙に印刷し、1部提出すること。

黒板等に撮影対象を要領よく必要事項を記入の上撮影のこと。

参考

工事場所	
工事名	
撮影箇所	
工種	
寸法・概略	
施工業者	

撮影内容と頻度

工事写真のみで本工事の施工経緯を含め工事の全容を把握できることを念頭において撮影すること。

### 3. 工事打合せ簿

本局と工事打ち合わせを行った場合は、打合せ簿を1部提出すること。打合せ簿の記入事項は、下記のとおりとする。

工事名

打合日時・場所

受注者名

### 4. 完成図書

#### ①内 容

一般図（全体平面図）

機器図（支給品の機器を含む）

工事施工図

検査試験成績書

取扱説明書

設計計算書（必要な場合）

※表紙記入事項は下記の通りとする。

発注者名

工事名

工事場所

工事年度

受注者名（商号または名称のみとする）

#### ②作成要領

A4判製本（折込）

3部

黒厚表紙（金文字）

電子ファイル（CD等） 1部

（A4判製本・電子ファイルの内容については本局の指示による）

## 第10条 操作説明

本工事完了又は試運転期間中、局職員及び水源管理センター運転管理業務委託者向けに、発電設備の操作説明書を作成の上、施設装置全般に精通した技術者主導による操作取扱説明会を数回行うものとする。なお、回数・日程については打合せにより決定する。

## 第11条 適用規格

水道工事標準仕様書（日本水道協会）

電気事業法

電気設備に関する技術基準

内線規程

日本工業規格（JIS）

電気規格調査会標準規格（JEC）

日本電機工業会標準規格（JEM）

水道法

水道施設設計指針

水道維持管理指針

日本水道協会規格（JWWA）

電池工業会規格（SBA）

日本内燃力発電設備協会規格（NEGA）

電気技術規定（JEAC）[高压受電設備規定]、[内線規定]

日本電力ケーブル接続技術協会規格（JCAA）

電力会社電気供給約款

電気用品取締法

消防法

その他関連法令、条例、規格

なお、上記規格基準に制定なきものは本局の指示を受けること。

## 第12条 検査及び試験

検査及び試験は「第11条適用規格」を標準とし、これらに規格基準制定のないものは、本局仕様書の該当各項及び本局の指示に従うものとする。

なお、試験にかかる費用は受注者の負担とする。

### 1. 工場試験

製作が完了したとき工場に於ける本局立ち会いの工場検査は実施しない。

工場検査終了後、工場検査報告書に検査試験成績表、その他検査記録及び検査記録写真等を添付して提出するものとする。

小型機器及び汎用機器は、検査試験成績書を提出するものとする。

（特に本局が指示した場合は省略することができる。）

## 2. 現場試験、試運転

現場において施工される据付・組立及び加工についての試験・検査及び総合試験、試運転を行うもので、本工事関連物件との組み合わせ試験も含むものとする。なお、試験実施に当たっては、本局の立合確認を求めること。

別途発注工事との関連、その他の理由で実施出来ない場合は、後日可能になったときに行うものとする。試運転に要する費用は、受注者の負担とする。ただし、電力、燃料、上水は、事前連絡のうえ、本局設備からの供給としてもよい。

## 3. 竣工検査

本工事完成に必要な検査であって、検査職員の指示に従って実施すること。

## 4. 随時検査

受注者は、特に完成検査時に確認ができない水中部、埋設部、低所、高所、または完成後直ちに供用開始する設備など完成検査時に確認ができない特殊または重要なものについて、四日市市検査規程第8条第6項の規定により発注者が随時検査を求めた場合は、監督員の指示に従い受検すること。

### 第13条 産業廃棄物

「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づく処分場及び「資源の有効な利用の促進に関する法律」に基づく再生資源化施設に搬入すること。

### 第14条 工事实績情報サービス

受注者は、受注時または完成時における工事請負代金額が5百万円以上の工事について、工事实績情報システム（CORINS）に基づき、工事实績情報として工事カルテを作成し、監督員の確認を受けたいうえ、登録機関に登録申請しなければならない。また、登録機関発行の工事カルテ受領書が届いた際には、その写しを提出しなければならない。提出期限は以下のとおりとする。

受注時は、契約後10日以内とする。

完成時は、工事完成後10日以内とする。

登録内容の変更時は、変更があった日から10日以内とする。

### 第15条 建設業退職金共済制度

受注者は、工事請負代金額5百万円以上の工事において、建設業退職金共済制度に加入し、その掛金収納書（発注機関提出用）を原則として、工事受注契約締結後1ヵ月以内に提出しなければならない。共済証紙購入金額は工事請負代金額の0.5/1000以上とする。

他の退職金制度に加入している等、共済証紙を購入する必要がない場合は、理由書の提出をもって共済証紙の購入を不要とする。

### 第16条 暴力団等不当介入に関する事項

#### 1. 契約の解除

四日市市の締結する契約等からの暴力団等排除措置要綱（平成20年四日市市告示第28

号) 第3条又は第4条の規定により、四日市市建設工事等入札参加資格停止基準に基づく入札参加資格停止措置を受けたときは、契約を解除することがある。

## 2. 暴力団等による不当介入を受けたときの義務

(1) 不当介入には、断固拒否するとともに、速やかに警察へ通報並びに発注所属へ報告し、警察への捜査協力を行うこと。

(2) 契約の履行において、不当介入を受けたことにより、工程、工期等に遅れが生じる等の被害が生じるおそれがある場合は、発注所属と協議を行うこと。

(3) (1)(2)の義務を怠ったときは、四日市市建設工事等入札参加資格停止基準に基づく入札参加資格停止等の措置を講ずる。

## 第17条 環境配慮事項

1. 本工事においては、本市の環境方針に基づき環境に配慮した工事施工に努めなければならない。
2. 騒音規制法・振動規制法に基づく特定建設作業、三重県生活環境の保全に関する条例に基づく建設作業の実施にあたっては、必要な各種届出を確実にするとともに、近隣への対策を配慮しなければならない。
3. 機器の据付等に用いる作業用機械は低騒音・低振動型作業機械の使用に務めること。
4. 工事用重機・車輛の使用にあたっては、アイドリングストップや効率的な運転を行い省エネルギー、排出ガス削減に務めること。
5. 本工事において発生した産業廃棄物は、マニフェスト等写しにより廃棄物の種類、数量、最終引渡場所を報告すること。
6. 現場にて発生したコンクリートガラはリサイクルし、また、使用する資材についても可能な限りリサイクル品を使用するように務めること。
7. コンクリート工については熱帯材型枠の使用を極力抑制すること。
8. 提出する工事関係書類は、可能な限り再生コピー用紙を使用する等環境に配慮すること。

## 第18条 施工地名

四日市市采女町地内

## 第19条 主要品

本工事で設計製作する主要品は下記の通りとする。

<受変電設備及び発電設備>

発電機設備は一般社団法人 日本内燃力発電協会正会員の製品かつ認証品とする。

## 第20条 個人情報取扱注意事項

この契約による工事の施工者は、工事を施工するに当たり知り得た個人情報について、別紙「個人情報取扱注意事項」を遵守しなければならない。

## 第2章 機器仕様

### 第1条 発電機設備

#### 1-1. ディーゼル自家発電機

(1) 数 量	1 台
(2) 形 式	屋外パッケージ超低騒音形（長時間形）
(3) 発電機出力	458.6kVA 以上
(4) 原動機出力	506.6kW（689.0PS）以上
(5) 電 圧	6600V
(6) 周 波 数	60Hz
(7) 相 数	3 相 3 線
(8) 力 率	80%遅れ
(9) 回転速度	1800 回転/min
(10) 冷却方式	直結ラジエータ冷却
(11) 燃 料	A 重油
(12) 始動方式	セルモータによる電気方式
(13) 絶 縁	F 種
(14) 騒 音 値	機側から 1.0m離れて 4 方向平均 75dB(A) 以下
(15) 構 成	
1) 発電機	1 式
2) ディーゼル機関	1 式
3) 共通台床（防振ゴム付き、耐震ストッパ付）	1 式
4) 鋼製架台 H=300mm 程度	1 式
5) その他必要なもの	1 式
(16) 付 属 品	製造者標準

#### 1-2. 燃料小出槽

(1) 数 量	1 基
(2) 形 式	屋外油庫式
(3) 容 量	1,950L(A 重油)
(4) 構 造	鋼板製溶接構造
(5) 付属品	架台・フロートスイッチ・ウイングポンプ
(6) 給油口ボックス仕様	
1) 形 式	SUS 製屋外壁掛形
2) 外形寸法	W700×H500×D280 程度
3) 給 油 口	65A
(7) その他	必要なもの 1 式

#### 1-3. 発電機盤

(1) 数 量	1 式
(2) 形 式	屋内鋼板製自立閉鎖形、デジタルパネル式



- |                  |                         |
|------------------|-------------------------|
| (3) 外形寸法         | W800×H2, 350×D1, 800 程度 |
| (4) 主要盤面機器       |                         |
| 1) デジタルパル        | 1 式                     |
| 2) 操作スイッチ類       | 1 式                     |
| 3) その他必要な物       | 1 式                     |
| (5) 主要盤内機器       |                         |
| 1) 真空遮断器 (VCB)   | 1 式                     |
| 2) 配線用遮断器        | 1 式                     |
| 3) 自動電圧調整器 (AVR) | 1 式                     |
| 4) 保護継電器類        | 1 式                     |
| 5) その他必要な物       | 1 式                     |

#### 1 - 4. 蓄電池盤

- |                  |                         |
|------------------|-------------------------|
| (1) 数 量          | 1 式                     |
| (2) 形 式          | 屋内鋼板製自立閉鎖形              |
| (3) 外形寸法         | W900×H2, 350×D1, 200 程度 |
| (6) 主要盤面機器       |                         |
| 1) 集合表示灯、計器類     | 1 式                     |
| 2) 操作スイッチ類       | 1 式                     |
| 3) その他必要な物       | 1 式                     |
| (7) 主要盤内機器       |                         |
| 1) 蓄電池 (長寿命 MSE) | 1 式                     |
| 2) その他必要なもの      | 1 式                     |

#### 1 - 5. 高圧気中負荷開閉器

- |              |  |
|--------------|--|
| (1) 数量       | 1 台  |
| (2) 仕様       |  |
| 1) 定格電圧      | 7.2kV                                      |
| 2) 定格電流      | 300A                                       |
| 3) 定格短時間電流   | 12.5kA                                     |
| 4) 開閉器本体材質   | SUS 製                                      |
| 5) SOG 制御装置箱 | メーカー標準品 SUS 製                              |
| 6) その他       | 過電流ロック機構付、方向性 GR 付き、VT 内蔵、モールドコーン、SOG 制御装置 |

※予備品・保守品

a) ランプ・ヒューズ類	100%
	LEDランプは10%
b) 補助リレー（タイマー含）	各種10%
c) 作業灯（LEDランプ）	1灯
d) デジタルクランプメータ付テスタ	1個
e) 非接触温度計	1台
f) 磁石式作業札 （作業中、故障中、操作禁止）	各3枚
g) スイッチカバー	5個
h) 予備品・保守品収納箱	1個

## 第4章 工事施工

### 第1条 一般事項

#### 1-1. 概要

本工事は、内部水源地の発電設備を更新するものである。

工事は関係法規に準拠し電氣的機械的に完全かつ美麗にして耐久性に富み保守点検が容易になるよう施工するものとする。

#### 1-2. 位置の決定

機器の据付け及び配線路の詳細な位置の決定については係員の指示を受けるものとする。

#### 1-3. 防湿、防蝕処理

湿気、水気の多い場所などに施設する機器並びに配線はその特殊性に適合する電氣的接続、絶縁及び設置工事を行ったうえ所定の防湿防蝕及び防爆処理をおこなわなければならない。

#### 1-4. はつり等

機器等の取付けに際し構造物にはつり、貫通及び溶接を行う場合は、監督員と協議の上、事前に十分な調査を行った上実施すること。

### 第2条 機器据付工

#### 2-1. 盤及び機器の据付工

1. 発電設備本体の据付は、コンクリート基礎を新設し、あと施工アンカーもしくはコンクリート削孔し、アンカーボルトを設置すること。発電機盤等の据付は、既設コンクリート基礎は利用するも、支障となる既設アンカーボルト等は適切に切断し、あと施工アンカーもしくはコンクリート削孔し、アンカーボルトを設置すること。
2. 基礎コンクリート等の鉄筋は加工図作成、提出、了承の後、加工に着手すること。
3. 切替は、短時間で行うように努めること。

### 第3条 配線工

#### 3-1. 一般事項

##### (1) 電線及びケーブルの種類

本工事に使用する電線は次のとおりとする。

- イ) ポリエチレン絶縁電線（接地も含む）(EM-IE)
- ロ) 600V 架橋ポリエチレン絶縁ポリエチレンシースケーブル  
(EM-CE 2mm<sup>2</sup>以上)
- ハ) 制御用ポリエチレン絶縁ポリエチレンシースケーブル  
(EM-CEE 1.25mm<sup>2</sup>以上)
- ニ) 制御用ポリエチレン絶縁ポリエチレンシースケーブル（シールド付）  
(EM-CEES 1.25mm<sup>2</sup>以上)

ホ) その他特殊ケーブルを使用する場合は、係員の承諾を得るものとする。

##### (2) 端末処理

- イ) ケーブル断面積 14mm<sup>2</sup>以上の低圧ケーブルの端末処理は、JCMS 規格に適合した材料を使用するものとする。

ロ) 上記以外のケーブルの端末処理はテーピングによるものとし、各端子へのつなぎ込みは圧着端子で行うこと。各芯線には端子記号と同一マークを刻印したバンドマークを付けるとともにケーブルにはケーブル記号を記したバンドまたは札をシースに付けること。

(3) 電路とその他のものとの離隔

イ) 低圧ケーブルと弱電流電線等の離隔

(ア) 低圧ケーブル及び低圧ケーブルを収納した電路は、弱電流電線と接触しないように施工すること。

(イ) 低圧ケーブルと弱電流電線を同一金属ダクト、ケーブルラック、ケーブルピットに収納して配線するときは隔壁を設けること。

ロ) 高圧ケーブルとその他のケーブルとの離隔

(ア) 高圧ケーブルは低圧ケーブル等または水管、ガス管もしくはこれらに類するものとは15cm以上離隔する。

高圧ケーブルとこれらのものとの間に耐火性のある堅ろうな隔壁を設け、かつ、高圧ケーブルとこれらのものが接触しないように施設するときはこの限りではない。

ハ) 地中ケーブル相互の離隔

(ア) 高圧ケーブルと低圧ケーブルの相互間は相互に堅ろうな耐火性のある隔壁がある場合を省き30cm以下に接近させてはならない。

(イ) 高圧、低圧ケーブルと地中弱電流電線とは相互に堅ろうな耐火質の隔壁がある場合を除き30cm以下に接近させてはならない。

#### 第4条 施工範囲

(1) 電気室(一部)の解体

(1) 屋外ディーゼル自家発電機の設置

(2) 燃料小出槽(1,950L、油庫式)の設置

(3) 発電機盤・蓄電池盤の設置

(4) 受変電室改築に伴う電気配線仮設工事

(5) 既設コントロールセンタ等の移設工事

(6) 既設発電設備の撤去(開口部蓋取付などの改修を含む)

(7) 上記に伴う燃料配管、電気配線・配管工事

(8) 上記に伴う試運転調整

(9) 各種申請

(10) 撤去品の運搬処分

※現在運用中の施設であるため、工事中の機能停止が可能な限り短くなるように努めること。

※切換工事における設備停止時間は、概ね平日昼間9時半～16時とし、詳細は、打合せにより決定する。

## 第5章 電気工事一般仕様

### 第1条 一般事項

#### 1 概要

本工事は、機器の据付並びに配線工事を施工するものである。工事は関係法規に準拠し、電氣的・機械的に安全かつ、美麗にして耐久性に富み、保守・点検が容易なように施工するものである。

#### 2 配線方法

配線ケーブル工事を標準として、ケーブルの規格寸法、布設経路及び工事範囲は、設計図書に記載のとおりとする。

#### 3 位置の決定

現場に設ける主要器具並びに配線経路の詳細な位置の決定については、監督員と打ち合わせのうえ決定のこと。

### 第2条 その他事項

#### 1 機器の据付

機器取付面のコンクリートには、機器に適合する基礎ボルトを設けること。

#### 2 制御ケーブルの端末処理

制御ケーブルとの接続は、テーピングにより端末処理を施工し、各端子へのつなぎ込みは圧着端子により完全に施工のこと。

#### 3 ケーブル番号札

盤内部には、ケーブル記号を記したラベルまたは札を取り付けること。

#### 4 マークバンド

制御ケーブルの各芯線には、端子記号を明記したマークバンドを取り付けること。

#### 5 燃料配管

SUS 管にて施工すること。

[別紙]

個人情報取扱注意事項

(基本事項)

第1 この契約による工事の施工者（以下「乙」という。）は、この契約による工事を施工するに当たり、個人情報（特定個人情報（個人番号をその内容に含む個人情報をいう。）を含む。以下同じ。）を取り扱う際には、個人情報の保護の重要性を認識し、個人の権利利益を侵害することのないようにしなければならない。

(施工者の義務)

第2 乙及びこの契約による工事に従事している者又は従事していた者（以下「乙の従事者」という。）は、当該工事を施工するに当たり、個人情報を取り扱うときは、四日市市個人情報保護条例（平成11年四日市市条例第25号。以下「条例」という。）第11条に規定する義務を負う。

2 乙は、この契約による工事において個人情報が適正に取り扱われるよう乙の従事者を指揮監督しなければならない。

(秘密の保持)

第3 乙及び乙の従事者は、この契約による工事を施工するに当たって知り得た個人情報を当該工事を行うために必要な範囲を超えて使用し、又は他人に知らせてはならない。

2 乙は、乙の従事者が在職中及び退職後においても、前項の規定を遵守するように必要な措置を講じなければならない。

3 前2項の規定は、この契約が終了し、又は解除された後においても同様とする。

(適正な管理)

第4 乙は、この契約による工事に係る個人情報の漏えい、滅失又は改ざんの防止その他の個人情報の適正な管理のために必要な措置を講じなければならない。

2 乙は、個人情報の適正な管理のため、管理責任者を置くものとする。

3 管理責任者は、個人情報を取り扱う工事の従事者を必要な者に限定し、これらの従事者に対して、個人情報の管理方法等について適正な指導管理を行わなければならない。

4 四日市市（以下「甲」という。）は、必要があると認めたときは、個人情報の管理状況等に関し、乙に対して報告を求め、又は乙の作業場所を実地に調査することができるものとする。この場合において、甲は乙に必要な改善を指示することができるものとし、乙は、その指示に従わなければならない。

(収集の制限)

第5 乙及び乙の従事者は、この契約による工事を行うために、個人情報を収集するときは、当該工事を施工するために必要な範囲内で、適法かつ公正な手段により収集しなければならない。

(再提供の禁止)

第6 乙は、あらかじめ甲の承諾があった場合を除き、この契約による工事に係る個人情報を第三者に再提供してはならない。

2 乙は、前項の承諾により再提供する場合は、再提供先における個人情報の適正な取り扱いのために必要な措置を講じなければならない。

3 前項の場合において、乙は、再提供先と本注意事項に準じた個人情報の取り扱いに関する契約を交わすものとする。

(複写、複製の禁止)

第7 乙及び乙の従事者は、あらかじめ甲の指示又は承諾があった場合を除き、この契約による工事を施工するに当たって、甲から提供された個人情報が記録された資料等（以下「資料等」という。）を複写し、又は複製してはならない。

(持ち出しの禁止)

第8 乙及び乙の従事者は、あらかじめ甲の指示又は承諾があった場合を除き、資料等（複写又は複製したものを含む。第9において同じ。）を契約書に指定された作業場所から持ち出してはならない。

2 甲及び乙は、乙が前項の指示又は承諾により資料等を持ち出す場合、その内容、期間、持ち出し先、輸送方法等を書面により確認するものとする。

3 前項の場合において、乙は、資料等に施錠又は暗号化等を施して関係者以外の者がアクセスできないようにするとともに、資料等を善良なる管理者の注意をもって保管又は管理し、漏えい、滅失及びき損の防止その他適切な管理を行わなければならない。

(資料等の返還)

第9 乙は、この契約による工事を施工するに当たって、甲から提供された個人情報が記録された資料等を、当該工事の終了後速やかに甲に返還し、又は引き渡さなければならない。ただし、甲の指示により廃棄し、又は消去する場合を除く。

2 前項の廃棄又は消去は、次の各号に定めるほか、他に漏えいしないよう適切な方法により行うものとする。

(1) 紙媒体 シュレッダーによる裁断

(2) 電子媒体 データ完全消去ツールによる無意味なデータの上書き、もしくは媒体の破砕

3 乙は、第6の規定により甲の承諾を得てこの契約による工事を第三者に請け負わせたときは、当該工事の終了後速やかに当該第三者から資料等を回収のうえ甲に返還し、又は引き渡さなければならない。ただし、甲の指示により、乙又は第三者が資料等を廃棄し、又は消去する場合を除く。

4 前項ただし書の規定により、第三者が資料等を廃棄し、又は消去する場合には、乙は、当該資料等が廃棄、又は消去されたことを直接確認しなければならない。

(研修・教育の実施)

第10 乙は、乙の従事者に対し、個人情報の重要性についての認識を深めるとともに、この契約による工事における個人情報の適正な取り扱いに資するための研修・教育を行うものとする。

(罰則等の周知)

第11 乙は、条例第44条、第45条、第47条及び第48条に規定する罰則適用について、乙の従事者に周知するものとする。

(苦情の処理)

第12 乙は、この契約による工事の施工に当たって、個人情報の取り扱いに関して苦情があったと

きは、適切かつ迅速な処理に努めるものとする。

(事故発生時における報告)

第13 乙は、この個人情報取扱注意事項に違反する事故が生じ、又は生じるおそれがあることを知ったときは、速やかに甲に報告し、甲の指示に従うものとする。

(契約解除及び損害賠償)

第14 甲は、乙又は乙の従事者がこの個人情報取扱注意事項に違反していると認めたときは、契約の解除及び損害賠償の請求をすることができる。